

平成 30 年 7 月 31 日

## 「傾斜地レモン栽培」×「IoT」連携による実証実験について ～ICT(愛)とレモンで島おこし～

株式会社エネルギア・コミュニケーションズ（略称：エネコム、本社：広島市、取締役社長：熊谷 鋭）は、とびしま柑橘倶楽部と連携し、本日 7 月 31 日（火）から傾斜地におけるレモン栽培の「見える化」など労働生産性向上等にむけ、「IoT」※<sup>1</sup>を活用した実証実験を開始します。

昨今のレモンブームにより全国的にレモン消費が拡大していますが、レモン生産者の高齢化等により、国内の安心安全なレモンの安定的な生産が難しい状況となっています。また、広島県はレモン生産量が日本一ですが、その生産の中心は島しょ部で傾斜地でも多く栽培されています。

こうした中、とびしま柑橘倶楽部では、大崎下島を含むとびしま地区のレモン生産者と一体となって、レモンの生産・流通や 6 次産業化などによる農業経営の安定化を目指しています。

このたび、エネコムは、とびしま柑橘倶楽部と連携し、これまで取り組んできた ICT の知見や経験を活かし、傾斜地レモン栽培において、「レモン栽培環境・プロセスの見える化」による労働生産性向上や、レモンの高品質化につながる「生産者ノウハウ（匠の技）の継承」を支える仕組みづくりに関して、各種センサや LPWA※<sup>2</sup>ネットワークなど「IoT」の有効性について実証実験を行います。

エネコムでは ICT 技術を実フィールド適用することにより、今後とも地域が抱える課題解決に寄与してまいります。

おわりに、西日本を中心とした大雨により被災・避難された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興を心よりお祈りするとともに、エネコムは、被災地の方々と一体となって新しい技術や仕組みづくりなどの実証実験を行うことで、被災地の方々を元気づけることができるよう、取り組んでまいります。

### ◆ 検証概要

- ・ 期間：平成 30 年 7 月～平成 31 年 3 月末（予定）
- ・ 場所：広島県呉市豊町（大崎下島）
- ・ 内容：傾斜地レモン栽培と IoT システム連携による実証実験
- ・ 各社の役割

○とびしま柑橘倶楽部

実証圃場の提供、レモン栽培ノウハウの提供

○エネコム

各種センサ（温湿度、土壌など）、LPWA ネットワーク、アプリケーションなど IoT 環境の提供

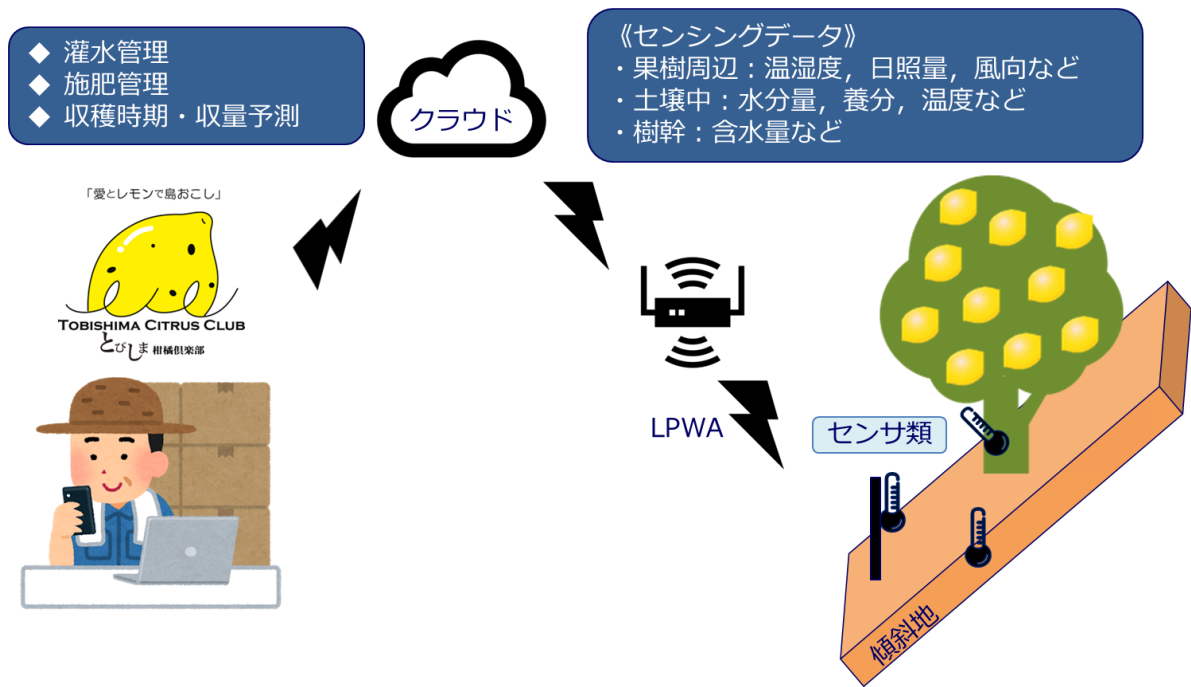
※<sup>1</sup>：IoT（Internet of Things）

モノのインターネットと呼ばれ、様々な「モノ（物）」がインターネットに接続され、情報交換することにより相互に制御する仕組み。

※<sup>2</sup>：LPWA（Low Power Wide Area）

消費電力を抑えて遠距離通信を実現する通信方式。

【参考1】実証実験概要イメージ



【参考2】大崎下島の傾斜地レモン生産現場の様子



【一般社団法人とびしま柑橘倶楽部 概要】

所在地：広島県呉市川尻町西5丁目1番5号

代表者：代表理事 秦 利宏

活動内容：柑橘農家の収入増，事業継承，6次産業化等の企画・運営など，地域社会に息づく新しい価値創造を目的に組織された団体。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社エネルギア・コミュニケーションズ 窓口

TEL 050-8201-1402 (担当：武田，出口)